

大妻女子大学 文学部

日本語教員 養成プログラム

2024年度文学部入学生からスタート

大妻女子大学文学部では、2024年度入学生から、日本語教員養成プログラムをスタートします。**文学部の日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科**の学生が履修できる新しい学びのプログラムです。

日本語教員養成プログラムとは

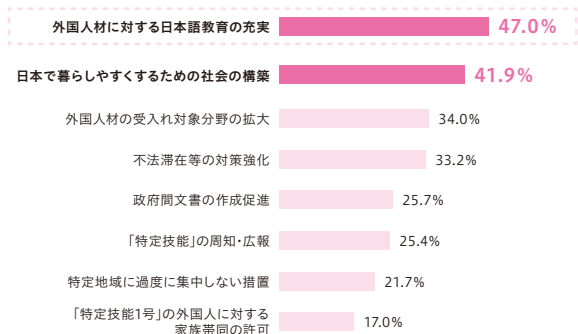
外国人に対する日本語教育に必要な知識と教育技術を学ぶ、**大妻女子大学文学部独自の学修プログラム**です。日本語教育・日本語・日本文化・異文化理解・国際協力・地政学等につながるのがある知識を活かしてスキルをみがきます。

プログラム設置の背景

日本語学習者は国内外で増加しています。グローバル化の進む今、その学習者は国内外の「大学の留学生」「就労者」「学校児童」の他に、趣味で独習する人も含めて様々な立場の人がいます。このような人々から、**質の高い日本語教員が求められている**のです。日本語教員資格の国家資格化も検討されています（2023年5月現在）。

特定技能が円滑に機能するために、政府が実施すべき取組や支援策

特定技能が円滑に機能するために政府が実施すべき取組等は、「外国人材に対する日本語教育の充実」が最も多く、47.0%となり、約半数の企業が日本語教育の取組・支援を希望している。次いで「日本で暮らしやすくするための社会の構築」(41.9%)が続く。

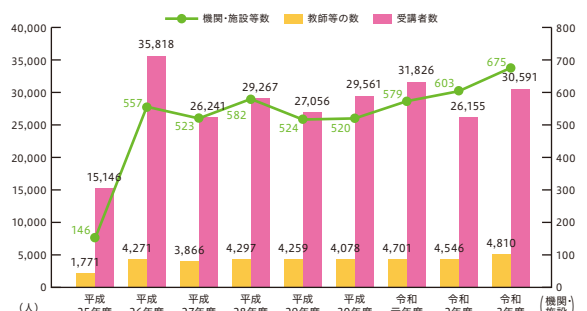


日本商工会議所作成(抜粋)

日本語教師等の養成・研修の現状

日本語教師等の養成・研修実施機関・施設等数／教師等の数／受講者数の推移

国内で日本語教師等の養成・研修課程(コース)、科目等を設けている機関・施設等数は675、教師等の数は4,810人、受講者数は30,591人となっている。前年度との比較では、機関・施設等数、教師等の数、受講者数ともに増加している。



出典:文化庁「国内の日本語教育の概要」(各年11月1日時点)

文学部の3つの学科を横断する学びの場

このプログラムでは、大妻女子大学文学部の3つの学科、日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科の専門的学びを活かし、日本語教育に必要な力を身につけます。

文学部のカリキュラム

文学部の「ことば」の学び + 日本語教育に必要な広い知識と技術

日本文学科の専門的学び

日本語学・日本文学・漢文学から、日本語のしくみや運用、日本の文化・歴史の深い学び

英語英文学科の専門的学び

英語学・英文学・英語教育学から、言語のしくみや運用・国際交流・国際協力の深い学び

コミュニケーション文化学科の専門的学び

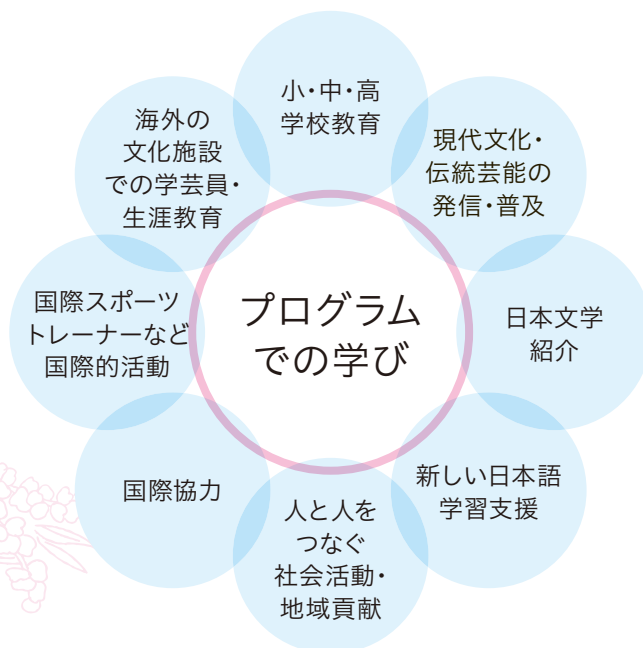
異文化コミュニケーションとメディアコミュニケーション・社会政策コミュニケーションについての深い学び

学科を横断するプログラム科目とは

日本語教育に必要な日本語学や日本語教育学の基礎科目、教育実習などの実践科目を履修します。

日本語教育に関する科目は、いずれも、日本語教育経験のある研究者が担当します。

※履修の詳細は別紙で配布しています。



プログラムを履修すると

卒業時に文学部日本語教員養成プログラム修了証を交付します。

このプログラムの学びは、国際社会で様々な仕事をしたい方にとっての大きな力となるでしょう。

大妻女子大学文学部

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

Email: japanese-edu@ml.otsuma.ac.jp

